

4段階評価【 4：期待以上、3：ほぼ期待どおり、2：やや期待を下回る、1：改善を要する 】

学校経営方針 (具体的な取組み)		努力事項		内部評価		学校関係者 評価	学校関係者 評価 (評議員、PTA役員)
				平均	平均		
1	基礎学力の定着を目指す「分かる授業」づくりや平常授業の充実 (教務)	1	「生徒による授業評価」と授業公開実施による授業改善、教科指導の充実	2.8	2.8	3.0	○今年度は総合訪問もあり、授業公開への意識が今までより上がった様に思います。 ○公開授業等(教育訪問)によってとても勉強になり良かった。 ○総合訪問等の研究授業があったので、自身の勉強にはなった。 ○生徒による授業評価は非常に良くなる。 ○授業を見直すよい機会となった。 △実施時期(授業公開)の検討を。(C科内加強) △授業公開は、やりっぱなしにならないようにしなければならぬ。△まだまだ今後も授業改善に取り組んでいきたい。 △授業公開があっても見ることができない。 △授業の完全実施(自習をなるべくなくす)と教学におけるIT授業の見直し(少人数授業) △「生徒による授業評価」アンケートの集計・分析と大変手間がかかるわりに効果(成果)があるのか疑問である。大宮高校では廃止されたと言っているが、思い切って廃止してもよいのではないか。
		2	基礎学力定着のための校内漢字テスト、進路テストの実施や宅習の充実	2.9	2.8	3.4	○漢字テストについて、毎月毎月のテストによって昇級の意識付けにもなり語学による基礎学力の向上にも続いて良い取り組みだと思ふ。 ●生徒にテスト範囲を学習させる十分な期間(7日以上)を確保してもらいたい。 (今年度12/3(金)期テスト・最終日、8日(水)進路テスト、14日(火)漢字テストと消化するだけで生徒の学力を養成することが困難) △たとえば、平成〇〇年〇〇株式会社の問題という形で生徒に提示すると、もっと食いつきがよくなると思ふ。 △進路テストの詳細の仕方が不明。 △日常勉強する方策として宅習の推進は是非必要。 △進路テストを受ける前の手立て(興味づけが欲しい)。 △事前学習を徹底させることができなかった。職員側の学習の重要性の共通認識が必要か。
		3	授業開始前の「黙想」による学習姿勢の確立	2.8	2.8	3.0	○授業前に精神を落ち着かせ、気持ちを切り替えるのに良い取り組みだと思ふ。○今年度はほぼ毎時間行うことができた。 ○少しずつ生徒に定着しつつある。 △クラス、教科担当者によって、徹底できていない場面が見られた。 △全教科に徹底していない。△年度初めに、共通理解が必要。 △時間がないと、黙想をしている余裕がないことがあった。 △クラスによっては、授業の始まりと終わりが「正座」「礼」であった。統一して「起立」「礼」と思っていた。
2	基本的な生活習慣の確立で思いやりのある人間性を備えた「いのちの教育」の推進。(生徒指導 教育相談 学年)	4	あいさつ、言葉遣い、時間厳守、身だしなみ等の一般常識や登下校マナーの向上	2.2	2.4	2.4	○生徒の先生方を中心に毎日指導をされ粘り強い取り組みをされていたように思います。 ●運動中など挨拶はよくしてくれが、髪、制服の着かたになかなか統一性がはかれていない様子がある。 ●朝のSHR開始時間8時25分(出席確認)の厳守 △改善できなかった。職員、家庭との連携を密に。 △職員がまず実践を…(あいさつ・時間厳守など) △全職員で朝やその他の時間に取組むべきである。 △「全職員で取り組む」という共通理解と姿勢 △遅刻が多い。朝立ち番以外にもペナルティーがあれば。 ○特に不登校や中途退学者については、担任や田原先生が最後まで生徒にうたがえ、どうにかしようとする粘り強い取り組みが見られたように思う。 ●保護者の教育力 ●遅刻が多い △緊急連絡網の整備/料金未払いで連絡が取れない期間が発生している。△毎日、当たり前のよう遅刻をする生徒がいる。遅刻者への指導をもっと徹底すべきである。 △保護者との連携強化が問題行動抑制に欠かれないと思ふ。 △遅刻・欠席を減らせないと思ふ。 △職員、家庭との連携を密に。 △朝の遅刻指導がなされていない。全職員で取り組むべき。
		5	遅刻・欠席、問題行動、不登校、中途退学者の抑制	2.3	2.4	2.2	△家庭での取り組みが一番だと思いますので、連携強化が欠かれないと思ふ。 ●保護者にも問題有り。
		6	思いやりの心を持ちはじめのない学校をつくるための人権教育、安全教育の推進	2.8	2.8	3.4	○重大な問題行動が少なかった。 ○人間的な問題を発見したとき、すぐに対応して話をしてくれる先生がいるのを見て、クラス全体で取り組もうとする様子が見られる。 ○LHRを利用した人権学習/1学期2学期の教育相談期間の実施がよかった。
3	進路実現・自己実現のための進路意識の醸成を図るキャリア教育。(進路 学科 学年)	8	全ての生徒の就職内定、上級学校への合格など自己実現のための進路指導推進	2.7	2.7	3.4	○厳しい状況にあったが、多くの先生方が良対応してくださった。 ○予想以上頑張ってくれた。 ○就職氷河期にある今年度の中期では、よく頑張りで内定率も例年通りになりそう。 ●進路意識が高い生徒が多かった。 △1年時から細やかな指導がもっと必要と思ふ指導ではあるが…△進路指導部との連携、教務との連携をとり対策を図るべし。 △1・2年生への進路指導が十分にできなかった。 △面接指導を2年生から取り入れる。 △基礎学力養成と面接練習の充実による。就職における第一希望内定率の向上
		9	インターンシップや施設実習による職業観・勤労観の育成	2.6	2.7	2.8	●口蹄疫の影響もあり、実施できなかったことでこれからの生徒には補え付けることができた職業観が身に付いているか心配される。 ●口蹄疫、火山噴火等の影響があり、計画通りできなかった。 ●口蹄疫や新燃岳の噴火で実施できなかった。 ○今年はインターンシップができていないので、対策を立てるべきである。 △口蹄疫で実施できなかったため、次年度で行いたい。 △口蹄疫のため中止 △新燃岳の噴火等で中止となつてしまった。 ○情報処理検定等、社会に必要な資格を多く取らせようとする取り組みが見られる。食化専門でHACCPの取得など、学科に合った資格取得を目指している様だ。 ○HACCP検定他新たな資格取得、危険物、ワープロ検定等の課外に学科全体で一生涯懸命取り組むことができた。合格率をあげるための努力を要するが…。 ○新たな専門性を活かした資格を取得することができた。
		10	各学科、各教科の特色を生かした資格指導の充実	2.8	2.7	3.2	△各学科の専門性(学習内容)と生徒の進路就職先との乖離。 △明日を担うスペシャリスト育成授業の指定を受けていたが、力を入れて取り組むことができず申し訳ない思ふ。 △学科と全く関係のない所への進路(専修職)希望や進路達成に向けての努力も見られない生徒・保護者への対応や指導、在り方。 ○生徒会役員の努力で、体育大会や文化祭が成功できた。 ○生徒会活動が活発でよいと思ふ。 △各種委員会や農業クラブの自主活動がみられるよう指導が必要。 △農業クラブ大会では頑張ったが、クラブ自身の活動が少ない。
4	美しい学習環境をつくるための学校美化を推進する環境教育(環境整備 生徒会 全生徒・職員)	13	生徒・職員による自問清掃で美しい学校づくり	2.4	2.2	3.0	○観整部を中心に学校裏に動いたと思ふ。先生方も自分の担当場所に行き生徒を指導し掃除をしていた。 ○環境整備部を中心に月に1回の美化活動がとてもよかつた。 ○学校内にゴミが落ちているということがあまりないよう思ふ。 ○他の学校に比べて、サボる生徒などはいない様に感じられる。 ○担当の先生達が担当場所に行き指導をされている。 ●担当の清掃場所に行っていない職員をみる ●毎日の清掃の取りかかりが遅く、清掃時間に歯磨きをしている生徒もいる。注意しても改善されない。 △まずは職員が時間を守ってきちんと清掃場所に行き、共に清掃をする姿勢が必要だと思ふ。 △生徒が取り組まない。全職員で取り組むべし。 △もっとしっかり取り組んでいきたい。 △降灰による整備 △清掃場所の見直し。(必要ないような場所に多配置されている、反対に必要場所に全然配置されていないことがある) △10分間清掃の徹底・見直し。
		14	生徒の自主的活動によるゴミのポイ捨てをなくす	2.1	2.1	2.6	○生徒がゴミを捨てるのを(ポイ捨て)見たことがまだなく、むしろゴミ箱を探している事が多い。 ●なかなか減らない状況にある。ポイ捨てが減らないことについては、状況が改善されない場合は美化活動とは別に何らかの取り組みが必要なのか…。 ●ゴミが減少しない。トイレでパンやお菓子の袋が散らしている。 △心の教育を心がけて続けていきたい。 △生徒が取り組まない。全職員で取り組むべし。 △できる限り職員・生徒が清掃場所へ行き指導する。 △なかなか減らせなかった。
		15	朝の10分間読書と図書館利用の促進による読書活動の充実	3.2	3.2	3.8	○生徒の意欲に差はあるが、生徒にとってとても大切な10分になっていると思ふ。 ○落ち着いて取り組んでいる。生徒の評価も高い。 △図書館利用を授業やLHRでもできないか考えていきたい。
6	自己管理・危機管理(保体 生徒指導)	16	生徒・職員の心身の健康増進とインフルエンザなど感染症予防	3	2.9	3.6	○若元先生を中心に、資料を出したり生徒への周知に努力し大変な状況に陥らなかったのではないかと。○健康講話が十分に行えた。 ○時期には、プリントをすぐに出す予防をマスク着用にしても学校全体に浸透しやすく連携が取れやすい環境が学校全体にできている様だ。 △生徒だけでなく、職員もうがい・手洗いの徹底をし予防を心がけるべき。 △マスクを準備しない生徒の対応。保護者へ連絡しても改善されない。 ○校門に入る前に挨拶指導で立ち止まる先生が減速を促したり、歩きの生徒に対しての指導も行われている様だ。 △事前指導の充実と交通事故等が起きてしまったときの臨時の集会等をすべきだったと思ふ。 △雨の日の傘を差しての自転車運転をなくす対策。 ・今年度はジャムの件で大変だった。
		17	交通安全等の校内事故防止、防災や食品衛生等の危機管理への対応	2.8	2.8	3.0	●動きが見えない △一部の職員のみが大変な思いをしている感がある。自分も含めて組織として形を作り協力したい。 △同窓会とPTAとの会議の調整
7	PTA、同窓会、学校との連携強化(閉校準備等)	18	高原高校閉校に向けた同窓会、PTAとの連携による閉校準備	2.7	2.8	2.8	△文書や電話で参加を呼びかけても出席できない状況がある。 △明確に組織の作成を行い、活動し始める。
		19	PTA活動の活性化と地域との連携	2.9	2.9	2.8	△大変良かった。素晴らしい。 (小林市民の声) △早くに連絡をもらえると、仕事を休めるように調整ができる。
8	全国高文祭の成功	20	全国高校総合文化祭宮崎大会郷土芸能部門の運営協力	3.1	3.1	3.6	○口蹄疫の影響も心配されたが、生徒・職員一丸となって頑張ったと思ふ。 ○各係となった生徒が責任をもって取り組んでもらえた。
9	学校再編(再編検討委員会)	21	小林秀峰高校再編に向けた再編準備室との連携	2.9	2.9	2.8	●一部の先生がご苦労されているのであろう。 ●現場の職員に会議内容が伝わってこない。 ●動きがやや遅い感がある。 △再編準備室と本校の各学科で調整は行われているのであろうが、他の職員からはどのように進んでいるのかよく分からない。